



総務常任委員会資料
2021年（令和3年）9月22日
政策局SDGs推進室

## 生理用品サポート事業の取組状況について

生理用品サポート事業「きんもくせいプロジェクト」の取組状況等について報告します。

### 1 学校のトイレに生理用品を配備するモデル事業について

本市において生理用品サポート事業を実施していく中で、児童生徒が生理用品の相談を先生にすることは、心理的負担が大きいとの声を踏まえ、さらなる児童生徒へ寄り添った支援につなげるため、次のとおり学校のトイレに生理用品を配備するモデル事業を実施しました。

#### (1) モデル事業の概要

児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、学校の女子トイレに生理用品を配備し、生理用品をいつでも入手できる環境を整えます。

#### (2) 実施場所

明石商業高等学校の女子トイレ個室（全45室）

#### (3) 実施期間

令和3年7月1日（木）～20日（火） ※2学期以降も延長して実施中

#### (4) 生理用品の使用個数

151個

#### (5) アンケートの集計結果

資料1のとおり

#### (6) 所見

① モデル事業の期間が短く生理用品を使用する機会がなかった生徒が多かったこと、また、児童生徒や先生等の現場の意見を十分に聞いた上で課題整理や事業の見直しを行うためには、期間を延長し、さらに検証していく必要があると考えます。

② 生徒からの「生理用品を教室から持ち出しにくい」との意見から、生理用品の入手が困難という理由以外にも、学校のトイレに生理用品を配備し、いつでも入手できる環境を整備することに、一定のニーズがあるものと考えます。

#### (7) 今後の取り組みについて

今回のモデル事業の実施状況を踏まえ、次のとおりモデル事業の実施範囲を拡大し更なる検証を行います。

① 明石商業高等学校でのモデル事業を2学期以降も継続して実施します。

② 高丘小中一貫教育校においても同様のモデル事業を実施します。

（現在、衛生面を十分に考慮した実施方法等について、対象校との調整を行っています。準備が整い次第、モデル事業を開始する予定です。）

## 2 きんもくせいプロジェクトへの寄附・寄贈について

本事業の趣旨に賛同する市民や企業等からきんもくせいプロジェクトに対し、次のような寄附・寄贈がありましたので報告いたします。

(1) 株式会社アーサ

寄附金額 金50,000円(2021年8月27日受領)

(2) 匿名の市民

寄附金額 金50,000円(2021年7月11日受領)

(3) 複数の市民

寄贈内容 生理用ナプキン昼用57袋、夜用9袋、その他生理用品

## 3 相談窓口別配付状況(4/1~8/31)

相談窓口		配付実績内訳等					配付数
4月1日 スタート	学校	小学校・養護学校 36	中学校 25	高校 6		67	
	明石こどもセンター	来所時に配付 81		訪問時に配付 33		114	
	AKASHI ユーススペース	小学生 2	中学生 22	高校生 13	大学生等 43	一般 36	116
	あかし男女共同参画センター	19歳以下 25	20歳代 28	30歳代 57	40歳代 83	50歳以上 20	213
5月1日 拡充	きんもくせい相談窓口 (生活再建支援) DVセンター 母子父子自立支援 ひきこもり相談等	19歳以下 4	20歳代 8	30歳代 6	40歳代 11	50歳以上 4	33
	こども食堂	こども財団から、各こども食堂運営者に連絡					19
配付合計						562	